

1. 単位

基本的によく使うのかわからない事にちっとおどろきました。

はい！単位は相互に関係があったのです！物理量の間の関係が理解できれば、自然と単位が決められるようにできています！

今日の講義で単位は組み立てられてきたのかと知り、衝撃を受けました。単位について、暗記していた節があったので、忘れてしまうとそれ以上どうにもならずたけれど、単位00あたりの△△のように、意味も考えて、分解してみると、忘れてもなんとかなるというか、そう考えたものがわかりやすくてお～!! と納得した。

習、 T と m は、ただ覚えるせいでただ $T = T$ なので、 $1km = 1000m$ となるのは、そういう関係があって使われていたのかと、おどろきました。

ただ覚えさせられた、という話はよく聞きます。皆さんが可哀そうに思います。色々な人が考えて、工夫して単位を作っています。その工夫がわかれば、なるほど、と思い、理解が進むでしょう！

SIの接頭辞は下は n 上は T くらいまでは日常で同じことがあるので覚えて使えるように

なりました。ちょっと話がそれます。桜美林大学発で、「ピコ悲しい」とか「ナノウレしい」という言い方が流行るといいなと思っています！

弧度法は理論と相性がいいです！ただ、歴史的な経緯があって、色々使われています。

六十分法は何故、物理学では使わないのですか？
また、地球科学、宇宙科学分野では何故使うのですか？

弧度の基本単位はなぜ rad に m をよよく使うのか、はじめから rad を使えばいいのよ。

振動数の単位、 $1/s$ の 1 の意味がわかりませんでした。回/s でもいいです！でも、枚/s 人/s を区別しませんよね。

↓ 書くと、一層覚えやすいと思います。素晴らしい！

“キロキロとメートルデカけためーとろが” デシにおかれてセンチミリ

2. 指数

「 $10^0 = 1$ 」は暗記で覚えていたため、忘れることが度々ありましたが、

今日の講義で理解することができました。

毎学期、このような感想が沢山聞かれます！これも、理屈でわかります。

指数法則の、 $10^0 = 1$ という事は知っていたが、なぜそうなるのか分からなくてずっとモヤモヤしていた。今日の授業ではじめて、スッキリした気がする。

指数は、今までは暗記で覚えていましたが、よく考えた上で、答えを当てはめると、なるほど” と思いました。がんばれ！高校の先生！

物理学は、人間が世界を理解するために色々工夫してできています。指数も（数学ですけど）その工夫の一つであることは、“Powers of 10”（10のべき乗）という映像でもよくわかります！

3. その他

教室寒かたです。授業中に言いづらかったので言えませんでした。

教えている方はヒートアップしているので気づきません。良かったら、是非、言って下さい！
質問があって先生の部屋に行くときはメールしてからの方がいいですか？ オフィスアワーは不要です！

最初に黄色の紙を全員に見せていますが、意味はありますか？ 次の勉強法のお話をする時が来たようです！

比例って考えたより難しくないものなんだ” と思った。 そうなんです！そして、理解できると、覚えることが減りますし、世界が広がります！

就職活動するとき、文系の学生が理系の科目も大学でちょっと勉強しました、ということは悪いことではありません。もちろん、バリバリ理系の学生もアピールできるでしょう。そのとき、より具体的に、何を学んだか、説明できるといいと思います。例えば物理学概論では何を学ぶか。